

# 組織目標評価報告書（令和3年度）

部局名： **生殖補助医療技術教育研究センター**

部局長名： **舟橋 弘晃**

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
<b>①教育領域</b>	
目標に関連する 年度計画の番号	教育領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等
①社会と学生のニーズにマッチした学部・大学院教育の提供を目指し、教育内容の見直しによるより効果的な教育法の導入に努める。教員のFDに取り組み、必要に応じて業務の見直しなど、さらなる組織強化に取り組む。 ②実習内容を見直すなど、コースワークの充実を目指す。 ③コンプライアンス教育、キャリア支援教育などの充実を図る。 ④特別コースの内容充実とアカデミックキャリア支援、適切な進路指導を図る。生殖補助医療技術特別コースについて、研修先・内容の見直しを含めて検証を行う。履修生向けキャリアサポート教育、現場技術者向けリカレント教育を充実させる。 ⑤他の教育機関と連携して、生殖補助医療技術教育の充実を試みる。生殖補助医療技術教育カリキュラム標準化懇談会を開催し、本教育プログラムの国内普及を図る。 ⑥国内外の協力教員の活用に努める。 ⑦現場技術者向けリカレント教育の充実を図り、内容変更により履修者数増加を維持する。	①社会と学生のニーズにマッチした学部・大学院教育の提供を目指し、教育内容の見直しによる、より効果的な教育法の導入に努めた。 ②実習内容を見直し、新しい機器の購入により、コースワークの充実を目指した。 ③コンプライアンス教育、キャリア支援教育などの充実を図った。 ④特別コースの内容充実とアカデミックキャリア支援、適切な進路指導を図った。生殖補助医療技術特別コースについて、研修先・内容の見直しを含めて検証を行った。履修生向けキャリアサポート教育、現場技術者向けリカレント教育を充実させた。 ⑤県内外の生殖補助医療機関およびアカデミアと連携し、学生の教育及びリカレント教育を実施した。 ⑥国内外の協力教員にお願いしてリカレント教育を含む教育を実施した。 ⑦現場技術者向けリカレント教育の充実を図り、内容変更により履修者数増加を維持した。
<b>②研究領域</b>	
目標に関連する 年度計画の番号	研究領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等
①研究成果の公表に努める。 ②研究実施体制の強化のため、科研費申請数と採択率の向上および共同研究など外部研究資金獲得を推進する。 ③国際共同研究をさらに推進するとともに、国際交流の活性化を図る。 ④業務整理等による研究推進力の増強に努める。 ⑤生殖補助医療技術教育に関する研究についても積極的に成果を公表する。 ⑥海外を含めた多大学との共同研究を行い質の高い研究の推進に努める。 ⑦研究推進力の増強に努める。 ⑧生殖補助医療技術に関する研究成果を公表する。	①研究成果として国内学会で10件、査読付き論文4報を公表した。 ②各部門の質向上と個性化の推進を図った(論文筆頭者・責任者によるジャーナルクラブと題したリカレントセミナーを開催し講演も行った)。 ③センターに配分された予算については、効率的・戦略的配分を行った。 ④広報担当事務員を採用し業務整理を行い、研究推進力の増強に努めた。 ⑤関係部局の安全衛生委員会と協力し、安全衛生の周知徹底を図った。 ⑥学部・大学院の特別コース等でコンプライアンス遵守の周知徹底と遵守意識向上を図った。 ⑦新たに顕微鏡関連機器を導入し研究推進力の増強に努めた。 ⑧生殖補助医療技術に関する研究成果として国内学会で10件、査読付き論文4報を公表した。
<b>③社会貢献(診療を含む)領域</b>	
目標に関連する 年度計画の番号	社会貢献(診療を含む)領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等
①執行部との連携を継続的に図りつつ、組織としてガバナンスが効果的に作用する体制の検証と改善に努める。 ②各部門の質向上と個性化の推進を図る。 ③センターに配分された予算については、効率的・戦略的配分を行なう。 ④概算要求できる事項を検討し、新たなプロジェクトの作成につなげる。 ⑤関係部局の安全衛生委員会と協力し、安全衛生の周知徹底を図る。 ⑥運営委員会および学部・大学院の特別コース等でコンプライアンス遵守の周知徹底と遵守意識向上を図る。 ⑦関係部局の各種関係プログラムの実施および開発に協力する。	①執行部との連携を継続的に図りつつ、組織としてガバナンスが効果的に作用する体制の検証と改善に努めた。 ②各部門の質向上と個性化の推進を図った(論文筆頭者・責任者によるジャーナルクラブと題したリカレントセミナーを開催し講演も行った)。 ③センターに配分された予算については、効率的・戦略的配分を行った。 ⑤関係部局の安全衛生委員会と協力し、安全衛生の周知徹底を図った。 ⑥学部・大学院の特別コース等でコンプライアンス遵守の周知徹底と遵守意識向上を図った。 ⑦関係部局の各種関係プログラムの実施および開発に努めた。
<b>④管理運営領域</b>	
目標に関連する 年度計画の番号	管理運営領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等
①執行部との連携を継続的に図りつつ、組織としてガバナンスが効果的に作用する体制の検証と改善に努める。 ②各部門の質向上と個性化の推進を図る。 ③関係部局の安全衛生委員会と協力し、安全衛生の周知徹底を図る。 ④運営委員会および学部・大学院の特別コース等でコンプライアンス遵守の周知徹底と遵守意識向上を図る。	①運営委員会での協議や意見が反映する体制での運営を行った。 ②各部門の質向上と個性化の推進を図った(論文筆頭者・責任者によるジャーナルクラブと題したリカレントセミナーを開催し、講演も行った)。 ③関係部局の安全衛生委員会と協力し、安全衛生の周知徹底を図った。 ④学部・大学院の特別コース等でコンプライアンス遵守の周知徹底と遵守意識向上を図った。
<b>⑤センター・機構等業務</b>	
目標に関連する 年度計画の番号	センター・機構等業務における目標の達成状況
①学部「生殖補助医療技術キャリア養成特別コース」、大学院「生殖補助医療学コース」を実施するとともに、内容見直し・改善を継続的に実施する。 ②受講者アンケートを実施し、リカレント教育内容の充実を図る。 ③現場で胚培養士として活躍中の社会人の博士前期・後期課程への入学を推進する。 ④国内での生殖補助医療技術教育の普及を推進する。生殖補助医療技術教育研究カリキュラム標準化懇談会を事務的にサポートする。 ⑤事務業務の見直し・システム化を推進する。	①学部「生殖補助医療技術キャリア養成特別コース」、大学院「生殖補助医療学コース」を実施するとともに、内容見直し・改善を継続的に実施した。 ②受講者アンケートを実施し、リカレント教育内容の充実を図った。 ③現場で胚培養士として活躍中の社会人の博士前期・後期課程への入学を推進した。 ④リカレント教育、中高生への公開授業を通して生殖補助医療技術教育の普及を推進した。生殖補助医療技術教育研究カリキュラム標準化懇談会を事務的にサポートした。 ⑤広報担当事務員を採用し業務の見直し・システム化を推進した。